

取扱説明書

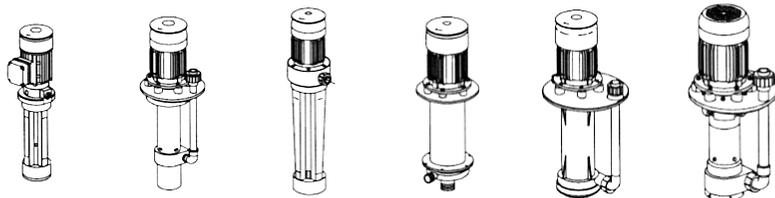


目次

- | | | |
|----------|----------|------------|
| 1. 製品番号 | 5. 安全指示 | 9. 異常の原因 |
| 2. 分解図 | 6. 製品の受領 | 10. 組み立て |
| 3. 部品リスト | 7. 設置 | 11. EEC宣言 |
| 4. はじめに | 8. 操作 | 12. モーター配線 |

目次

D90 D110 D120 D150 D170 D201 D240



旧# D101...D105

タンク外置モデル

D90 D110 D120 D150 D170 D201 D240

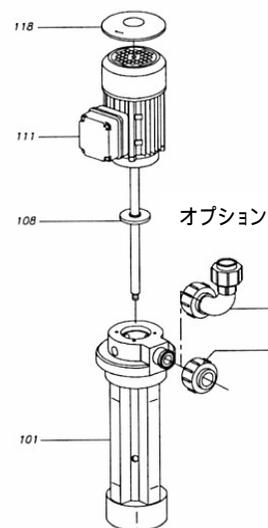
必ず、ポンプを設置する前に 11 ページをお読み下さい。

2. 分解図

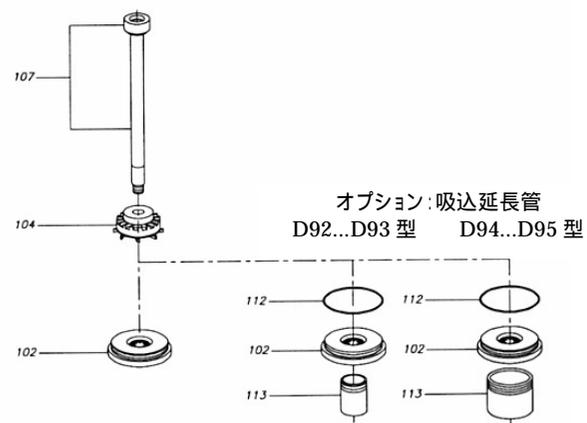
D90 PP (旧# D101...D105)

3. 部品リスト

- 101 ポンプ外壁本体
- 102 ポンプ外壁本体カバー + ストレーナー
- 104 インペラー
- 106 ユニオン部
- 107 シャフトプロテクションパイプ
- 108 スブラッシュガード
- 111 電動モーター
- 112 Oリング *)
- 113 吸込延長管 *)
- 118 モータードリップカバー



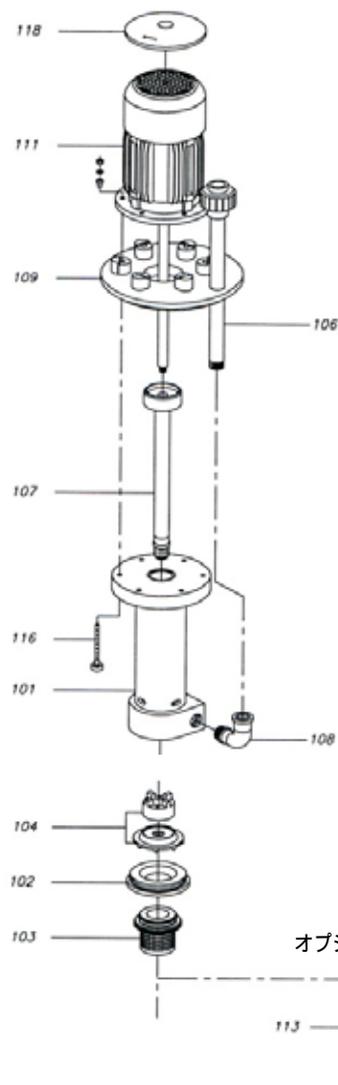
*)オプション



部品御注文の際には、ポンプ型式と通し番号を必ずお知らせ下さい。

2. 分解図

D110 PP



3. 部品リスト

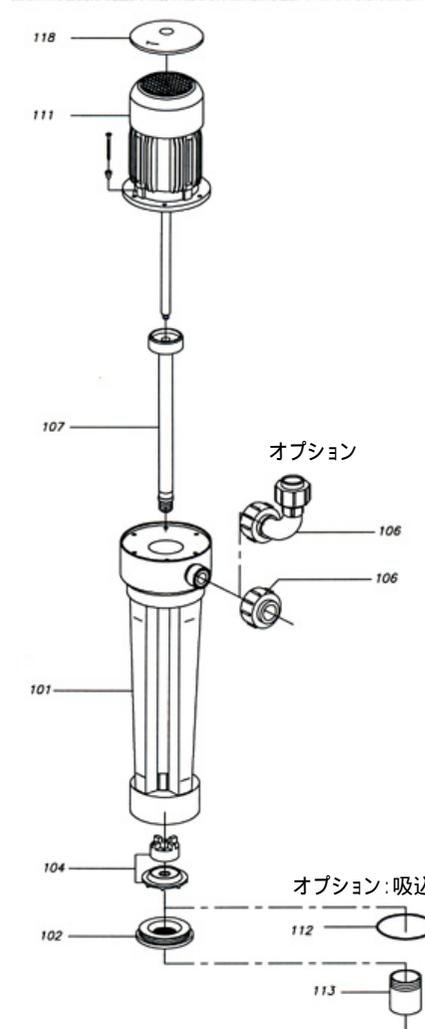
- 101 ポンプ外壁本体
- 102 ポンプ外壁本体カバー
- 103 ストレイナー
- 104 インペラー
- 106 排出用パイプ
- 107 プロテクションパイプ
- 108 吐出エルボー
- 109 マウントプレート
- 111 電動モーター
- 113 吸込延長管 *)
- 116 モーター用ビス
- 117 アイソレーションプラグ
- 118 モータードリップカバー

*) = オプション

部品御注文の際には、ポンプ型式と通し番号を必ずお知らせ下さい。

2. 分解図

D123...126 PP (#D110の更新型)



3. 部品リスト

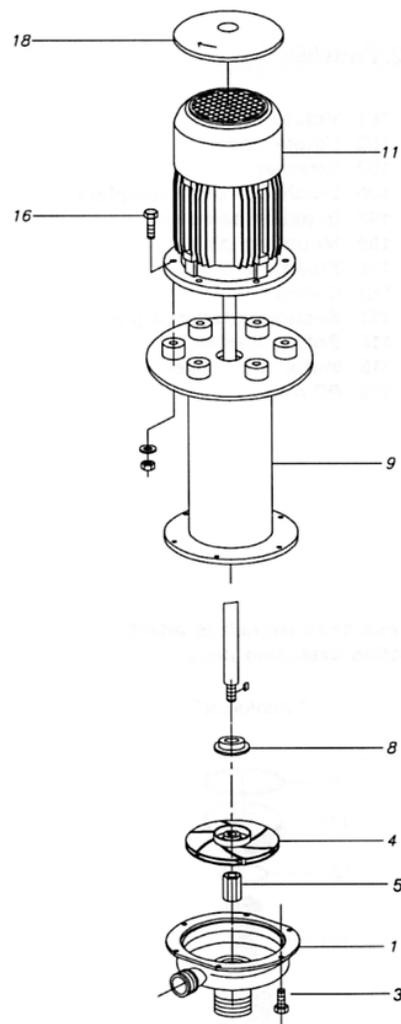
- 101 ポンプ外壁本体
- 102 ポンプ外壁本体カバー + ストレイナー
- 104 インペラー
- 106 ユニオン部
- 107 シャフトプロテクションパイプ
- 111 電動モーター
- 112 Oリング *)
- 113 吸込延長管 *)
- 118 モータードリップカバー

*) オプション

部品御注文の際には、ポンプ型式と通し番号を必ずお知らせ下さい。

2. 分解図

D150 SS



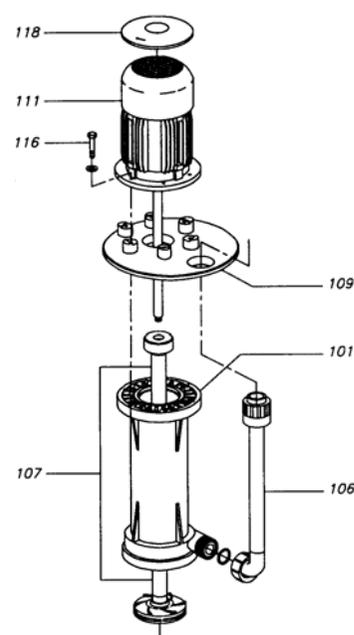
3. 部品リスト

- 1 ポンプ外壁本体
- 3 ボルト
- 4 インペラー
- 5 固定用ナット
- 8 制動環
- 9 取付フランジ+ブラケット
- 11 電動モーター
- 16 ボルト(一組)
- 18 モータードリップカバー

部品御注文の際には、ポンプ型式と通し番号を必ずお知らせ下さい。

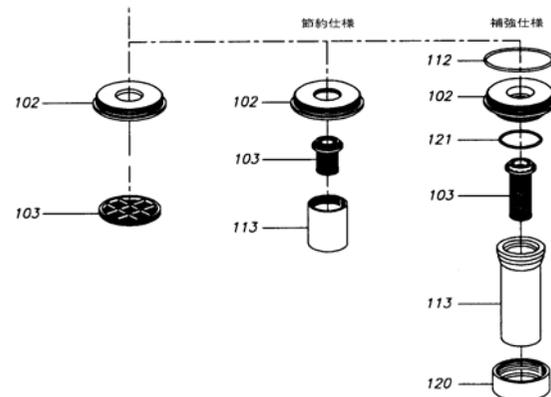
2. 分解図

D170 PP/PVDF



3. 部品リスト

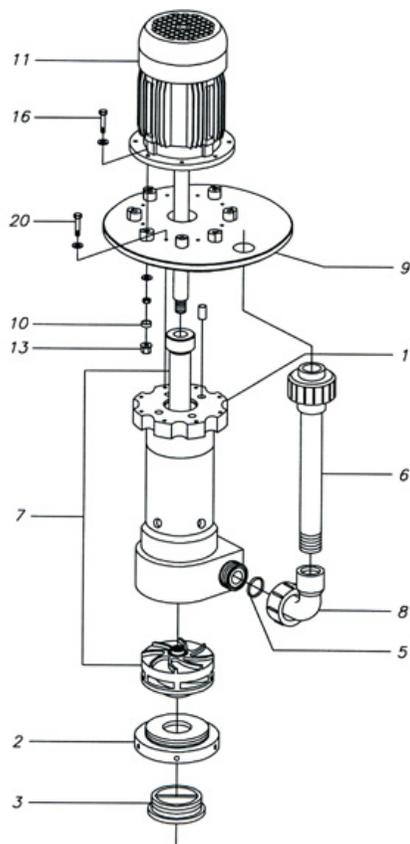
- 101 ポンプ外壁本体
- 102 ポンプ外壁本体カバー
- 103 ストレイナー
- 106 吐出パイプ部
- 107 インペラー部
- 109 マウントプレート
- 111 電動モーター
- 112 Oリング
- 113 吸込延長管
- 116 ボルト(一組)
- 118 モータードリップカバー
- 120 PPリング



部品御注文の際には、ポンプ型式と通し番号を必ずお知らせ下さい。

2. 分解図

D201 / D241 PP



3. 部品リスト

- 1 ポンプ外壁本体
- 2 ポンプ外壁本体カバー
- 3 吸込安定器
- 5 Oリング
- 6 吐出部
- 7 インペラー部
- 8 吐出エルボー
- 9 マウントプレート
- 10 絶縁プラグ
- 11 電動モーター
- 13 密封型ナット
- 16 ボルト(一組)
- 18 モータードリップカバー
- 20 ボルト(一組)

部品御注文の際には、ポンプ型式と通し番号を必ずお知らせ下さい。

4. はじめに

このたびは、ヘンダー社製品をお選びいただきまして誠にありがとうございます。本製品の使用を始める前に、この取扱説明書をよくお読みになり本書の指示に可能な限り従うことを強く推奨いたします。そうすることで、今後幾年にもわたって本製品が適正に機能することが可能になります。

この取扱説明書には、全ての必須安全指示が記載されておりますので、本製品の最終使用者の手に渡るように留意してください。この取扱説明書は、製品の使用現場に置き、操作者や保守作業者が利用できるようにしてください。

5. 安全指示 (1)

注記

下記の標は注意喚起標識です。これらの標が製品または取扱説明書に記されている場合には、人身傷害の可能性にご注意下さい。



この標識は、注意事項を守らないと、**感電の危険**があることを警告します。

危険



この標識は、無視すると、**重度の人身傷害**または死亡あるいは大きな設備損壊を引き起こす**可能性が高い**要因について警告します。本製品は薬液を収容していることをご承知おきください。

危険



この標識は、無視すると、**重度の人身傷害**または死亡あるいは大きな設備損壊を引き起こす**可能性がある**要因について警告します。

警告

5. 安全指示 (2)



この標識は、無視すると、**軽度の人身傷害または設備損壊を引き起こす可能性が高い**または**可能性がある**要因について警告します。

注意

注記という標識は、危険に関するものではないが重要で特別な指示を示唆しています。

この取扱説明書および製品ポンプに示された全ての安全指示をよく読んで遵守してください。

安全標識は良好な状態に保ってください。安全標識が消失または破損した場合には、新しいものと交換してください。

6. 製品の受領

製品の受領時には、製品の番号(名札データをご覧下さい)を確認するとともに、配達もれの無いこと及び損傷が見あたらなことをお確かめください。これらの確認事項に問題が存在する場合には、文面に書き留め、できれば運送会社の署名を付けて、証拠としてください。

7. 液中ポンプの設置 (1)



危険



危険



警告



注意

電気系

1. このポンプの接続は、必ず、お客様の地域の電力会社の規定に準拠して、資格のある電気技術者が行うものとしてください。
2. モーターは、電源装置に接続する前にアースしてください。モーターのアースを怠ると、重症または死に至る感電を引き起こす可能性があります。ガス管にはアースしないでください。
3. 電源本線の電圧が、モータープレートに記載された電圧に対応していることを確認してください。電圧が不正であると、火災やモーターの重大な損傷を引き起こす可能性があるばかりか、製品の保証が無効になります。いかなる疑問も、免許を受けている電気技術者にご相談ください。(末尾頁の電気図をご覧ください。)
4. 不測または偶発的なモーターの始動を避けるために、電源を切って遮断してください。
5. ポンプには、電圧がかかっている部品があります。修理点検の際には、電源を切って遮断してください。
6. 危険な電圧による人身傷害を避けるために、ポンプのモーターにジェット水流を当てないでください。
7. ご使用の電気配線の寸法がモーターの出力に適合していることを確認してください。
8. 電源のヒューズを確認してください。
9. ポンプには、温度安全ガード付きサーマルスイッチを設け、モータープレートに記載の数値に従ってスイッチを調整してご使用になることを推奨します。

7. 液中ポンプの設置 (2)

10. 電気コードの損傷を避けるために:

- コードを持ってモーターをつり上げないでください。
- コードが絡んでいないことを確認してください。
- コードを鋭利な縁などに沿って配線しないでください。

配管(ホースまたはパイプ)

ポンプの吐出し側への接続には、信頼性があり長寿命の(さらには耐圧性の)部材を用いてください。ホースの場合には、適正なホース締め具を使用してください。接続には適正なリングを使用してください。始動の前に接続部の締め具合を点検してください。ホースやパイプの内部は、始動前には清浄でなければなりません。

熱可塑性樹脂性ポンプでは、配管応力は許されません。ポンプ本体の歪みやポンプの損傷を防ぐために、配管が適正に位置合わせされ支持されていることを確認してください。

モーターシャフトの回転は、モーターの頂部から見て時計回り(CW)になります(正しい回転方向はモーターにも記されています(接続箱の矢印参照))。シャフトの回転の試験は液外で行わねばなりません(ポンプを逆方向に運転すると、インペラーが緩み、ポンプに損傷を与えることがあります)。ポンプを液中に設置する前に電源を短時間投入して回転方向を確認してください。ポンプを液中に設置した後で回転方向の点検を行うと、ポンプをひどく損傷させることがあります。これを厳守せず、インペラー、プロテクションシャフトが破損しても、当社の責任範囲外とさせていただきます。



警告

7. 液中ポンプの設置 (3)

ポンプを設置する場合:

タンク中置き型

- ポンプへのアクセス及び/又は保守管理を容易にするために十分な空間を設けてください。
- ポンプは、ヒーターや加熱コイルなどの近くには決して設置しないでください。
- 溶液がモーター上にこぼれるような位置にポンプを設置しないでください。
- パイプ類の適正な無応力組み付けを確実にするために、ポンプは堅牢な台座に取り付けてください。
- ポンプ本体の標に従ってタンクの最高液位と最低液位を確認してください。
- 液中ポンプを小形のタンク内に設置する作業中には、ポンプ自体によって引き起こされる温度上昇の危険性があります。
- ポンプを空気攪拌パイプの真上に設置することは、ポンプ機能の故障につながりますので避けてください。
- ポンプ吐出パイプから応力を排除してください(好ましくは、ポンプ出口と硬質パイプの間に柔軟なホース継ぎ手を使用してください)。
- ポンプ内に空気が残るとポンプまたはポンプ機能に支障を来す可能性が高いので、ポンプ内に空気が残存していないことを確認してください。